

『時の流れ』に乗せる経営を!!

—TACTベトナム・カンボジア

経済事情視察ツアーから学ぶ—



高井法博会計事務所

所長 高井 法博

昨年十一月十五日から十一月二十二日まで

の八日間、二年に一回恒例のTACT経済事情視察ツアーでベトナム、カンボジアにでかけた。

今回のテーマは、急激な円高に伴う国内製造業の空洞化や世界同一価格に基づく価格破壊と規制緩和などにより我が国の産業構造は大きく変わろうとしている。その中で、我々中小零細企業は生き残りをかけどんな手を打って行くべきであるかを模索するということであった。

とされる。すなわち、産業の空洞化は、個々の企業が低生産性である分野についてローコストを求めて生産拠点・事業拠点を海外に移転させることであり、低価格化の対処としては至極当然の帰結である。

一方、高コストの日本では生き残れない産業を各種規制で無理に残しては税金もかかり国際的批判も高く、その分野の合理化も遅れ構造転換も進まないこととなる。こう思うとき、私はまさに『ピンチはチャンス』と受け止めチャレンジして行くべきだと考えている。しかし、このチャンスを生かすには、企業は将来への道程を見誤ることにもなる。今後、どのような産業に自社は構造転換して行くべきかをさぐる為、新聞を見たり各種講演会などに出席し情報を収集しなくてはならない。参考までに、政府の諮問委員会・産業構造審議会の基本問題小委員会報告書に提示された十二の新規有望市場群の市場規模、雇用規模予測を

☆『時の流れ』……空洞化の今後

ちなみにアメリカやドイツの海外生産比率をみると共に三〇%を越えている。日本とは云えば、岐阜の主力産業の繊維製品や家電製品は八〇%超と聞くと、全体では未だ十%に満たないようである。また、円高の原因となっている貿易収支はまだ大変な黒字であり世界が許す訳がない。となれば、国と国とのボーダレス化は増々進み、『価格破壊』や『空洞化』はこれからが本番と理解すべきだ

提示する。これらの中から自社の対応できる、手掛けられる分野を見つけ出し手をかけておいていただくことをお勧めする。

○産業構造審議会基本問題小委員会報告書に提示された12の新規有望市場群の市場規模・雇用規模予測

	市場規模 (兆円)			雇用規模 (万人)		
	1993年	2000年	2010年	1993年	2000年	2010年
住宅関連	34.0	38.3	39.8	254	271	227
医療・福祉関連	2.9	6.9	12.4	15	33	56
生活文化関連	18.1	25.6	38.2	180	200	244
都市環境整備関連	2.4	3.5	4.4	19	23	25
環境関連	13.2	19.8	29.1	55	69	82
エネルギー関連	2.0	3.5	6.0	4	6	9
情報・通信関連	31.9	65.0	120.6	184	313	467
流通・物流関連	8.8	18.6	35.2	13	23	36
人材関連	1.9	6.3	12.6	2	3	5
国際化関連	0.7	1.7	3.0	4	8	12
ビジネス支援関連	3.6	6.6	11.0	38	52	71
新製造技術関連	9.9	17.2	36.4	81	97	134
合 計	129.4	213.0	348.7	849	1,098	1,368

☆ベトナム・カンボジアの研修旅行から学ぶ
そんな意味で今回の研修旅行はとても意義があった。

世界の成長センターと言われるアジアの中でも、中国について注目をされているベトナムは、新経済政策のドイモイ(刷新)で伝統的な社会主義体制・計画経済から市場経済への移行を急速に図っており、中国に追いつき追い越せという勢いである。日本の企業経営者にとって投資とマーケットの対象として最も注目を集めている国の一つでもある。国民性も大乗仏教を基盤とし道徳心も高く、識字率は九十%を越え箸を使い米を食べる習慣が

札 幌2日間

- 最少催行人員/2名
- 食 事/朝1回
- 利用予定ホテル/ルネッサンスホテルサッポロ 札幌グランドホテルクラス
- 出発日/1月7~31日(除外日:13・14日) 2月13~29日 3月1~31日

びかびかリゾートアイランド

ベナン4・5日間

●観光・食事付(朝食2回・昼食1回)
●利用予定ホテル/フェリシモビーチまたは同等クラスホテル

●料金
2月4・7・14・25・28日 77,000円
3月3・6・10・13・24 77,000円
4月11・13・17・20・27・31 82,000円

●コース

日程	スケジュール
1	名古屋空港→新千歳空港 (午後便) ——(各自負担)——札幌(泊)
2	札幌——(各自負担)——新千歳空港 ——名古屋空港 (午後便)

●ウェルカムドリンク付

●ウェルカムドリンク付
●フルコース付
●ナイトチェック(ホテルのお部屋は14時までご利用可)

コース①名古屋・ベナン(ホテルにて、ウェルカムドリンクとフルコースのサービス)
②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

●旅行代金(おとな・子ども同額)

	3名様一室利用	2名様一室利用
1/7~3/31	31,000円	33,000円

●金・土曜日出発:5,000円増

お問い合わせ
お申し込みは

日通旅行

☎(058)265-7466

日本旅行業協会会員/運輸大臣登録一般旅行業第19号

日本通運(株) 岐阜旅行支店

〒500 岐阜市神田町6丁目11番地 協和第一ビル

一般旅行業務取扱主任者:野中 輝彦

●営業時間

平日:09:35~18:00
土曜:10:00~17:00
日曜・祝祭日:休業

岐阜信用金庫本店北側。

是非お立ち寄り下さい。



デラックスリゾート・コンドミニアム

アルバン・ビーチ・タワー

週末の休日4・5・6日間

(うれしい期間限定)

●料金

●朝食付き

●利用予定ホテル/アルバン・ビーチ・タワー

(ダイヤモンドスイート又はロビカルスイート)

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

●料金

あり我々日本人にも慣じみやすい。人口は七千万人を超え、唯一アメリカに勝った国でもある。労務費は月一人当たり三十五〜四〇ドル（三千五百円〜四千円）で社会保険や賞与もなく年間四〜五万円で、日本の百分の一近い額である。半分の五十分の一としても大変なメリットであり日本の企業が数多く進出しようとする様がよくわかる。

しかし、現実進出しようとする懸念する点も多い。私は今までこのような旅行を四回主催したが、今回ほど思い通りいかず苦労したことはなかった。現地での見学先や講演していた方との打合せはしつこい位何度も何度も電話とFAXを入れ念を入れ出かけた。現地での日本人との交流：三菱商事ハノイ駐在所や三和銀行ホーチミン駐在員事務所：提掲先のアメリカの会計事務所クーパーズ・アンド・ライブラント プノンペン事務所の方々とこのセミナーは我々の希望通り進む。ところが、現地の機関や見学先などの打合せはまさに冷汗の連続であった。

まず、香港からハノイに向かうベトナム航空便ではオーバブックキング（塔乗券の二重販売）によりあやや六名が乗れないような状況——これは日通の内田添乗員の必死の努力で出発直前に他の乗客に変わってもらった等の処置で無事ハノイへ。更に、ホーチミン到着時には現地旅行社のガイドバスが来なくて一時間ほど空港で待つはめとなった。

また、ハノイの工場では通訳がほとんど日本語を話せなかったり、連絡がとれているはずなのに工場内は機密保持のため見学拒否を受けスタモンの末何とか見学したが日本ではごくありふれた集材材の工場であった。

カンボジアでは交流会の席に政府高官が二時間も遅れて現われ、その上明日は企画大臣翌々日情報大臣（日本で言う通産大臣）との会見を通告されるなど我々の当初打合わせたスケジュールとは全く違う呈示を受け皆で協議し一部観光を犠牲にして会見することなどを決めた後、三十分程で帰ってしまう。

時間や約束が守られず通じない。主催者として、参加していただいた方々に申し訳なく落ち込み、翌日のアンコールワットやアンコールトムの観光もどう挽回するかを常に考え気も沈みがちであった。翌々日の企画大臣（ポルポト時代フランス亡命）の講演会と食会、その翌日のプノンペン情報省（日本で言う通産省）を訪問し情報大臣と大臣執務室で会見する機会を得ることができた。当初二十分の予定を一時間割いていただき、その模様を国営TVで放映されるなど、結果的には何とか面目を保つことができた。しかしながら、このようなことが一つ一つしっかりできる国ならこんな状況にはなっていないからだろうと思う。我々企業もまさに同じで、成長する企業は約束を一つ一つしっかりと守り、迅速にお客様のニーズに答えられるのである。

いざ進出しようとする、我々の常識が如何に通じない国であるか、それこそ一つ一つ念には念を入れてしっかりと詰め、更にその上で色々な問題は起こって当たり前と覚悟すべきである。

昨年三月TACT例会でマルコ・ポーロの郭先生が、「海外投資をする場合、社運をかけるようなやり方ではなく、十分調査した上でダメでモトモトという額に限定し本体に影響を与えない範囲にとどめ、自信がついた段階で一気に行くべし。」とおっしゃった言が実感できた。しかしそれで敬遠することなく平均出生率が日本では一・五人、ベトナムでは六人であり、現在七千万人の人口が一気に日本を抜くだろうと考える時、あらゆる可能性を秘めた国だと思われる。

今後の時代の流れにいつでも乗れるよう手を掛けておく重要性がよく理解でき、先進国への旅とは全く違う勉強ができたツアーであった。その他、ベトナム戦争の際掘ったクチの地下トンネル二百四十kmや世界文化遺産指定のカンボジアのアンコールワット・トムなど誠に圧巻であった。

今後この地域への進出を考えておられる方には、多少の人脈の紹介やバックアップも是非させていただきたいと思う。是非とも活用下さい。ちなみに、カンボジアで大事な人宛に出した手紙が二ヶ月経っても未だ到着しない。

confidence
confidence
confidence

岐阜市木ノ本町2丁目8番地

矢島建設興業株式会社

本社 TEL 058 (252) 1292(代)

お客様との信頼関係を大切にしています。